

2022年度 日本工学院専門学校											
演劇スタッフ科											
スタッフワークショップ4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	寺嶋陽子・山本浩二・鶴巻一弘 山田岳史・増田有示			実務 経験	有	職種	舞台スタッフ				
担当教員紹介											
業界で15年間スタッフワークの経験あり。コンサート・イベント、放送、舞台の美術を中心に打ち合わせから、図面について、施工納品までの実務経験を持つ。現場実務に必要な高所作業、木工加工、有機溶剤取り扱いの技能講習修了。											
授業概要											
業界での仕事を意識し、実践的にスタッフワークを学ぶ。後期はじめの文化祭にてより実践的なスタッフワークを行う。一年生と共に実習していく時間も増えるため、学生が安全衛生に気を配り、スタッフワークの流れを理解し指示も出せるようになる。先輩という意識づけ。年度末の卒業公演に向け円滑なスタッフワークが行えるよう実習に取り組む。各セクションだけでなく、全体の流にも気を配り、公演の準備から撤収までを実習する。											
到達目標											
前期より継続し、分野別のスタッフワークを基礎から応用へと繋ぎ、本番公演を行うことにより実践力を身に付ける。本格的に社会にでて協働することを具体的に思い、業界のルールや作法を落とし込む。社会にできれば新人としてのスタートとなるが数年のけいけんを積んだのち後輩の育成に助力しなければならないということを念頭に置き、一年生とのグループワークを行う中でコミュニケーション能力も高める。各学生の希望に沿った進路決定が目標。											
授業方法											
進んだ業界での仕事内容を研究し、沿ったスタッフワークを実習し落とし込む。本格的な公演（卒業公演）が控えるため、準備や打ち合わせも重要な時間となる。スタッフワークとして準備、調べ、製作、仕込み本番と一連の流れを体験。											
成績評価方法											
実習課題 平常点	60% 40%	各セクションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。出席率も反映される									
履修上の注意											
各学生の二年間の集大成であることを忘れない。社会にでて協働するということを、強く意識して実習にのぞむ。同時に就職活動も行わなければならない。体調管理に気をつける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。											
回数	授業計画										
1週 (2回)	中間発表プランニング										
2週 (2回)	中間発表仕込み準備										
3週 (2回)	中間発表仕込み										
4週 (2回)	中間発表稽古										
5週 (2回)	中間発表本番										

2022年度 日本工学院専門学校	
演劇スタッフ科	
スタッフワークショップ4	
6週 (2回)	中間発表全体合評会
7週 (2回)	中間発表コース別合評会
8週 (2回)	卒業公演台本解釈
9週 (2回)	卒業公演打ち合わせ
10週 (2回)	卒業公演準備スケジュール管理
11週 (2回)	卒業公演準備
12週 (2回)	卒業公演稽古
13週 (2回)	卒業公演直し作業
14週 (2回)	卒業公演最終確認
15週 (2回)	卒業公演本番